

第 1 回 栗東市農業振興基本計画等策定委員会

栗東市の概況

<目 次>

1. 栗東市の概要
2. 統計データから見る栗東市の農業
3. 栗東市の主な農業施策・取組

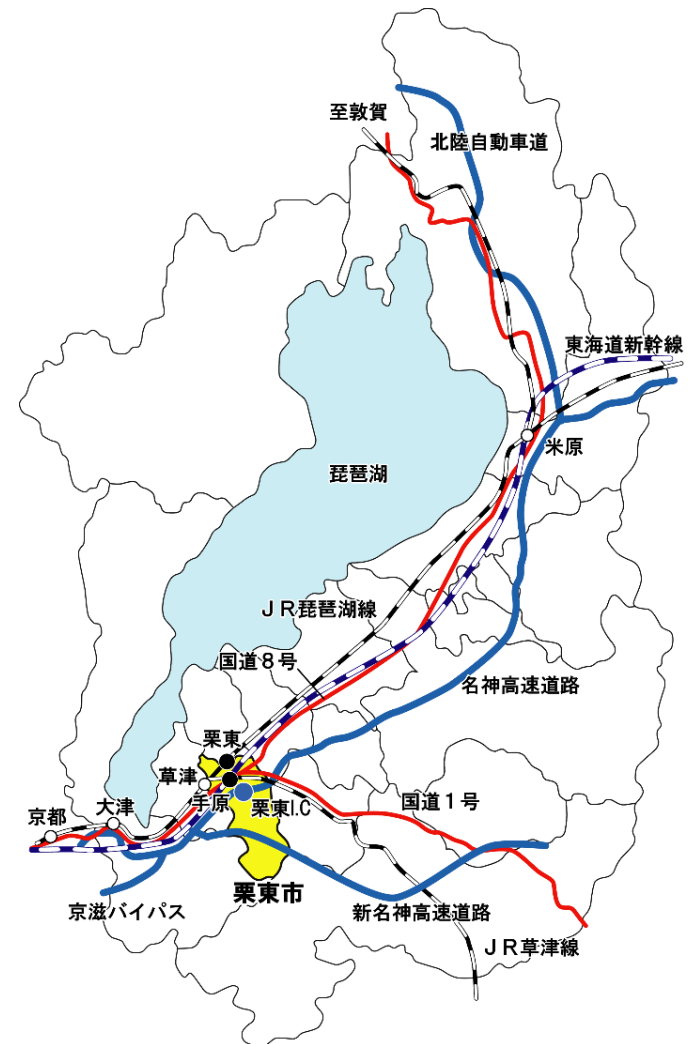
1. 栗東市の概要

(1) 位置と地勢

1. 栗東市の概要

- 栗東市は、県南部（近江盆地の南部）に位置し、東西約6km、南北約14kmの南北に細長い形状の52.69km²の市域を有している。
- 広域的には、京阪神都市圏の東北部に位置し、大阪市から60km、京都市から25km、名古屋市から85kmの距離にあって、京阪神都市圏と名古屋都市圏を結節・交流点となっている。

栗東市 位置

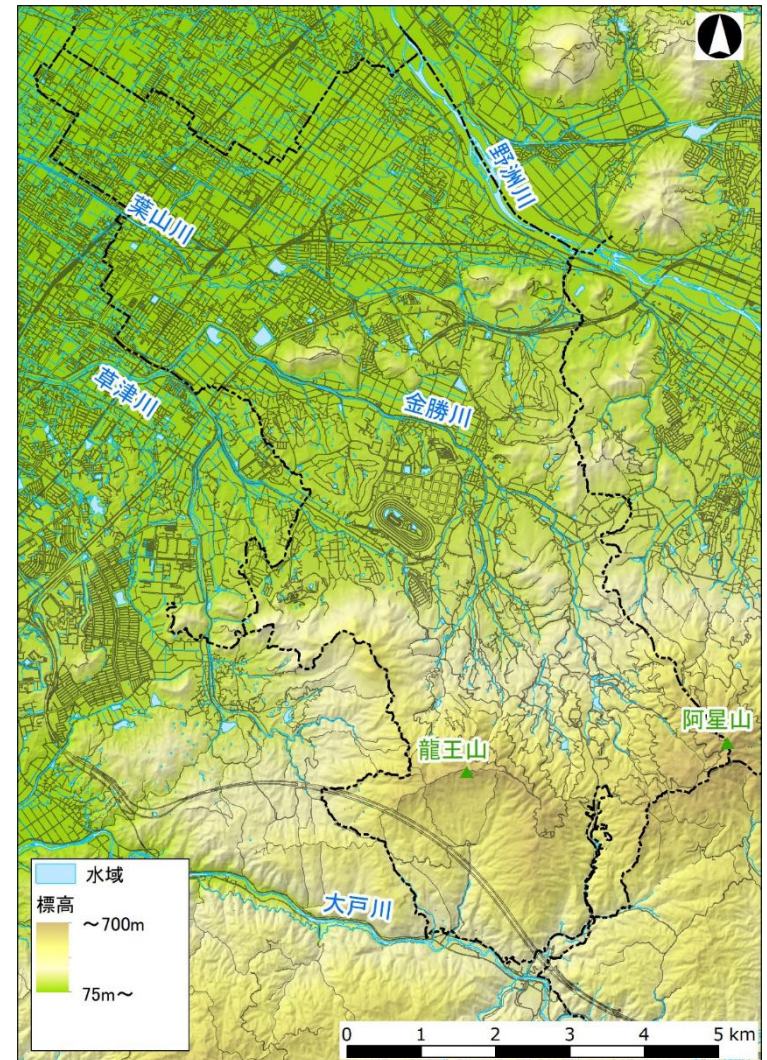


(1) 位置と地勢

1. 栗東市の概要

- 地形的には、市域南部で本市最高峰である阿星山（標高693m）を中心とした金勝連峰から広がる山地・山麓地を形成し、中央部の丘陵地を経て、北部は近江盆地の沖積平野の一部を形成する。
- おもな河川は、西部に草津川、北東部に野洲川が北に向かって流下しており、その他市域には金勝川、葉山川等の諸川が流れる。
- 草津川、野洲川2つの河川に挟まれ、市南部から北部にかけて緩やかに傾斜する水田地帯が広がり、美しい自然と景観に恵まれている。

栗東市 地勢



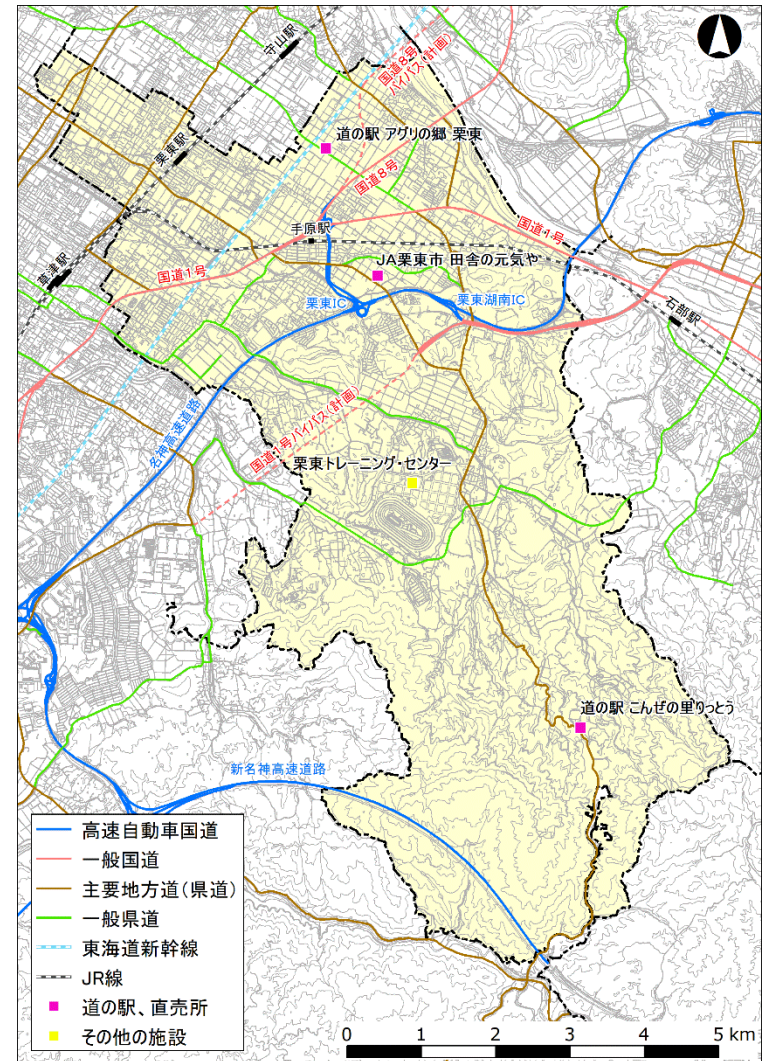
資料: 基盤地図情報[数値標高モデル]ほか

(2) 交通

1. 栗東市の概要

- 主な道路として、本市の中央部を名神高速道路が東西を縦断しており、栗東 I C、栗東湖南 I Cが整備されているほか、国道1号と国道8号の合流点があるなど、交通結節点として昼夜を問わず交通量が多い地域となっている。
- 鉄道は J R 線が通り、市域には栗東駅（J R 琵琶湖線）及び手原駅（J R 草津線）の2駅が設置されている。
- 幹線道路沿いに道の駅や直売所が整備されており、農産物等の購入などの目的で多くの利用者が訪れている。
- 今後、国道1号及び国道8号バイパスが東西を貫く予定であり、さらなる交通網の発展が見込まれる。

栗東市 交通網



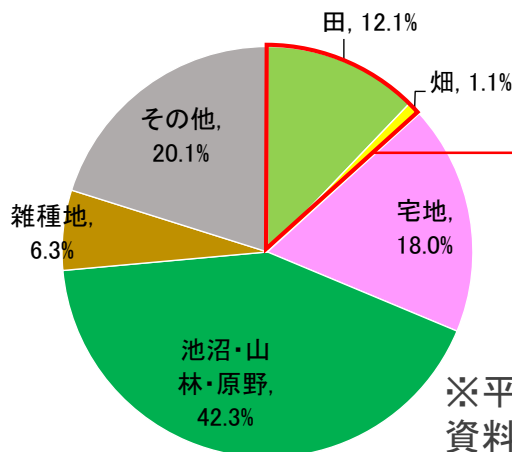
資料: 国土数値情報 [鉄道]、
都市計画基礎調査 (H28) ほか

(3) 土地利用

1. 栗東市の概要

- かつては近江穀倉地帯の一端を担う農業中心の村々として農地利用が中心であった。
- 昭和40年代以降、交通網の整備による企業進出とともに、急激な人口増加による市街地形成が進んだ。
- 現在では、全体の約4割を山林等が占めており、宅地が2割弱、農地（田・畑）が1割強を占めている。

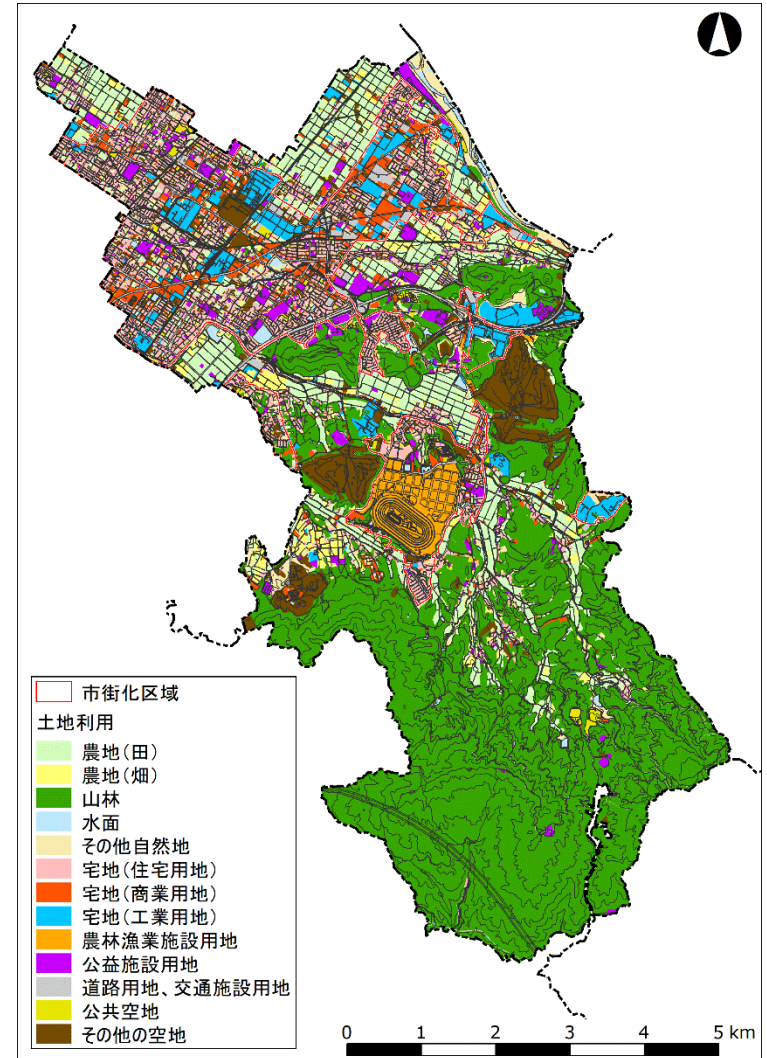
地目別面積



農地が1割強を占める

※平成31年1月1日現在
資料：市統計書

栗東市 土地利用

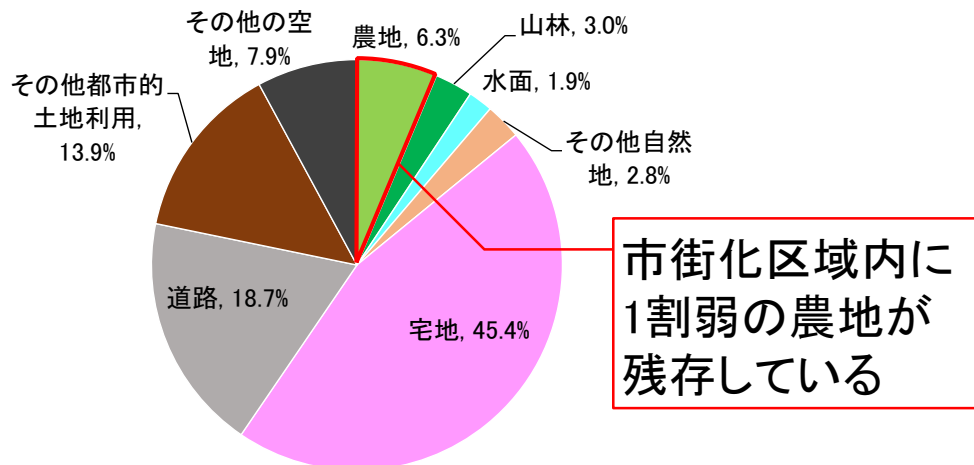


資料：都市計画基礎調査 (H28)

市街地の農地

- 市街化区域では、宅地化等が進み、農業的土地利用から都市的土地利用への転換が進んでいる。
- 市街化区域内の土地利用は、宅地や道路などの都市的土地利用が約8割を占める一方、1割弱が農地として残存している。
- 市街化区域の縁辺部（市街化調整区域）に、まとまった規模の農地が広がっており、これら市街地及びその近傍における農業・農地と都市活動との調整・連携が求められる。

市街化区域内 土地利用面積割合



市街化区域
内の農地
(苅原)



市街化区域
縁辺の農地
(霊仙寺)



(4) 法規制状況

1. 栗東市の概要

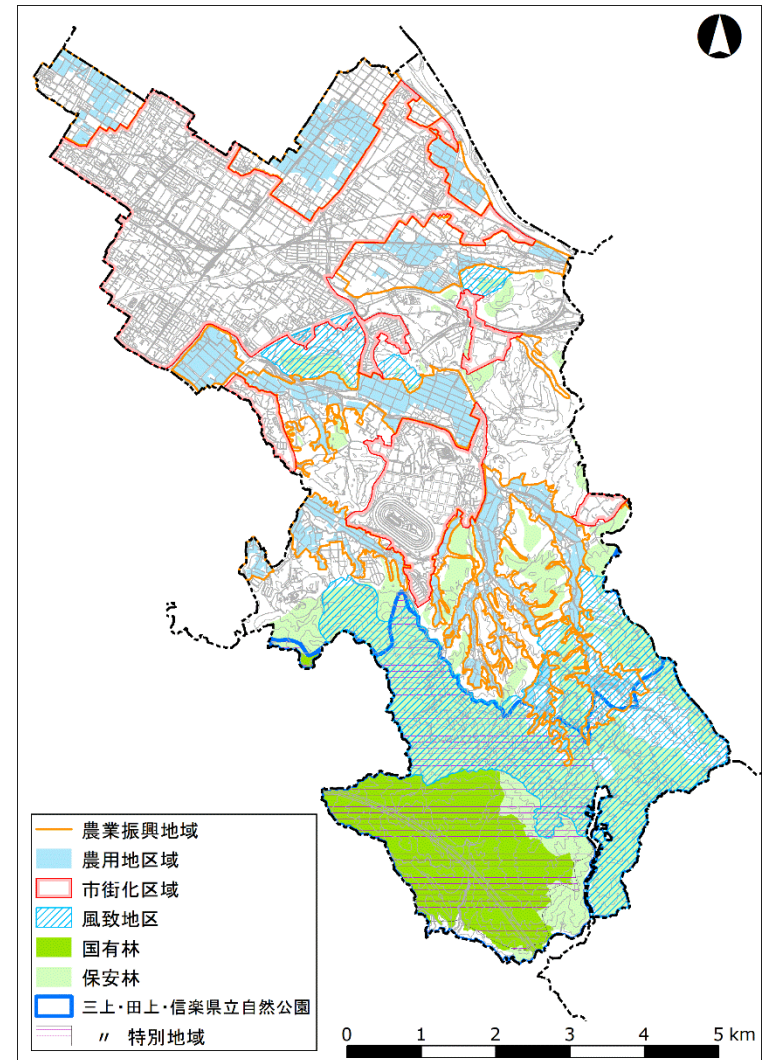
- 本市は全域が都市計画区域に含まれ、市街化区域及び市街化調整区域に区分される。
- 農業振興地域は、市域のうち市街化区域及び森林地域等を除いた約815.8haが指定され、うち集団的に存在する農用地等約571.8haを農用地区域に指定している。（令和元年12月31日現在）

主な法規制状況

地域・区域		面積(ha)	備考
市街化区域		1,405.5	
市街化調整区域		3,863.5	市街化区域を除く市全域
風致地区	阿星金勝風致地区	1,029.7	
	安養寺山風致地区	83.2	
	上砥山風致地区	19.5	
	日向山風致地区	20.4	
農業振興地域		約815.8	市域のうち市街化区域および森林地域等を除いた区域
	農用地区域	約571.8	(令和元年12月31日現在)
森林地域		2,327	
	国有林	444	
	保安林	約1,570	
自然公園地域		約1,284	面積はGIS計測による
三上・田上・信楽県立自然公園			
	特別地域	約902	面積はGIS計測による

資料：栗東市資料、滋賀県農業振興地域整備基本方針、栗東農業振興地域整備計画、湖南地域森林計画、近畿中国森林管理局資料、国土数値情報ほか

栗東市 法規制状況



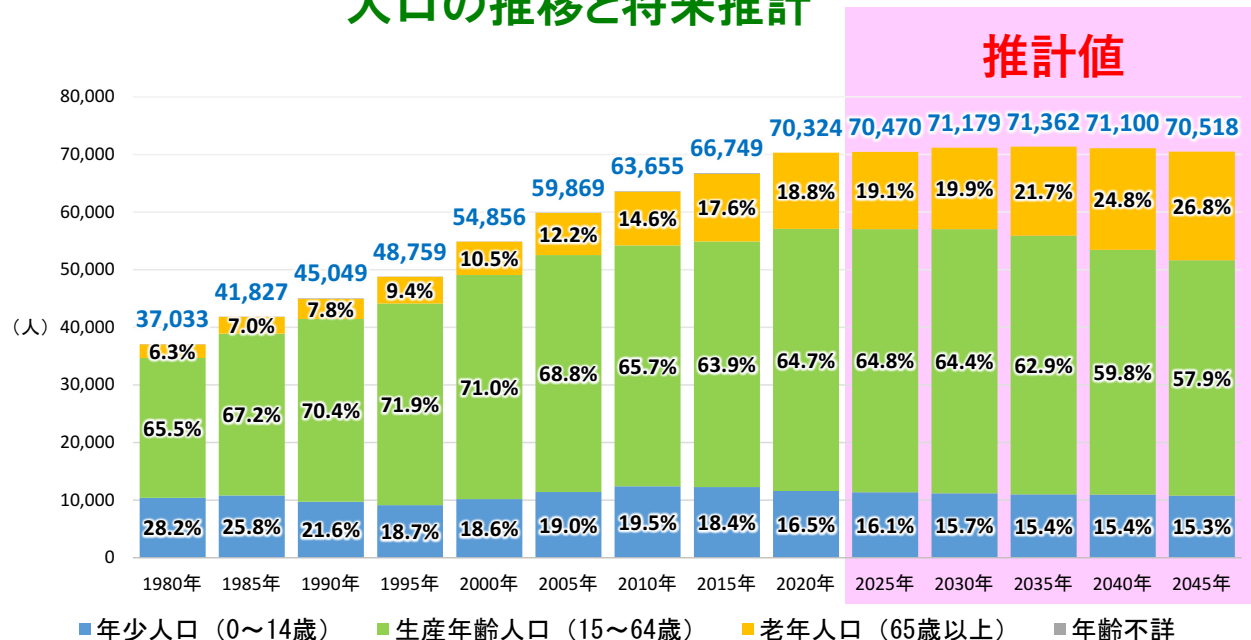
資料：栗東市資料、都市計画基礎調査(H28)
国土数値情報ほか

(5) 人口

1. 栗東市の概要

- 本市の人口は、2020年9月時点で70,324人と、1980年から40年間で約3.3万人の人口増（約1.9倍）となっている。
- 年齢区分別では、2020年時点で年少人口は16.5%、生産年齢人口は64.7%、老年人口は、18.8%となっている。
- 人口増加の傾向は今後も継続し、将来的に2035年まで増加すると予測されるものの、以降は人口が減少に転じる事となる。高齢化も進行し、2045年には、3割弱が老年人口となることが予測される。

人口の推移と将来推計



資料:

- ・1980年～2015年 国勢調査
- ・2020年 栗東市資料
(2020年9月1日現在)
- ・2025年～2045年
『日本の将来推計人口(平成30(2018)年推計)』
国立社会保障・人口問題研究所

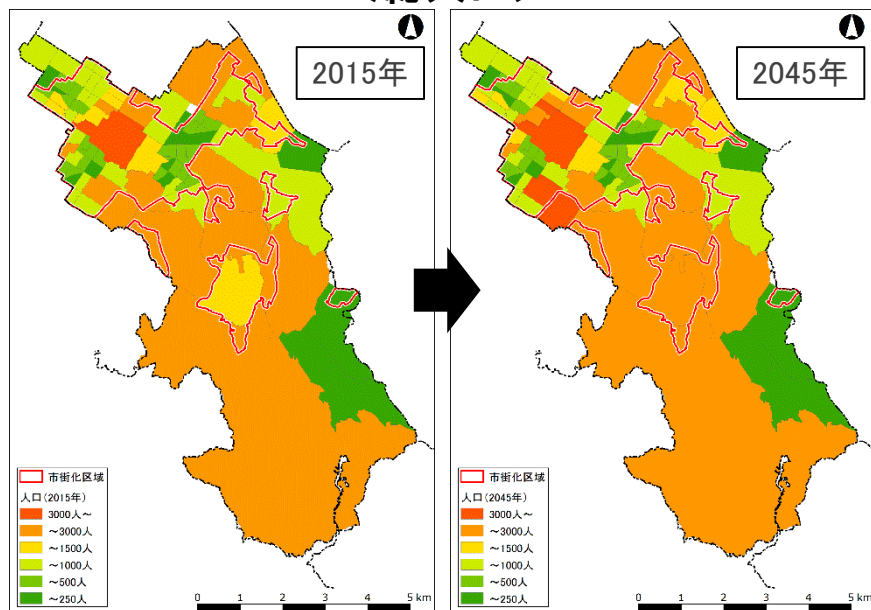
(5) 人口

1. 栗東市の概要

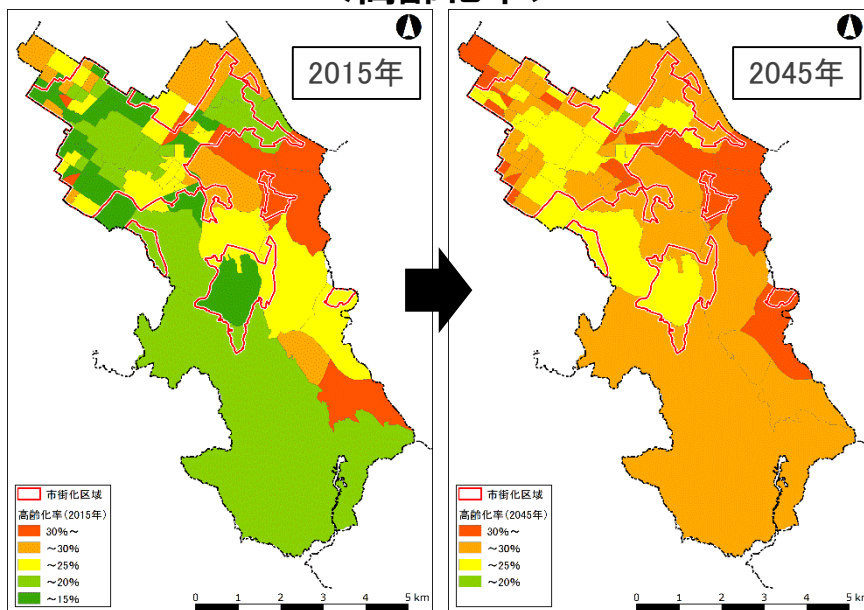
- 地域（小地域）ごとの人口の将来予測をみると、2015年から2045年までの変化において、各地域の総人口は概ね維持されており、大幅な増減はみられない。
- 一方、高齢化率は、各地域で軒並み進行すると予測され、2015年時点で15%以下である地域でも、30年後には25%を超えるなど、大きく上昇する地域もみられる。

小地域別人口及び高齢化率の推移予測

<総人口>



<高齢化率>

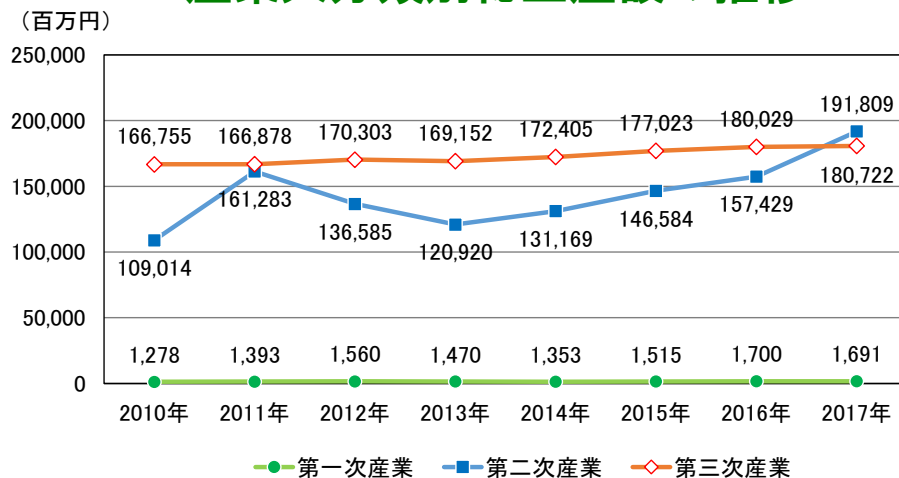


(6) 産業

1. 栗東市の概要

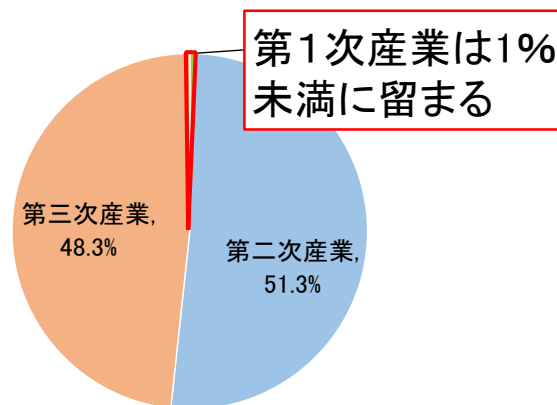
- 本市は、かつて水田農業を中心とした田園地域であったが、名神高速道路栗東インターチェンジ設置（昭和38年7月）に伴い、有数の広域交通の中枢として、昭和40年代には一転して内陸工業地帯としての急激な発展を遂げた。
- 現在の栗東市の主な産業は製造業である。産業大分類別では、近年は製造業を含む第2次産業と第3次産業が、それぞれ市内総生産額を二分する状況となっている。
- 農業を含む第1次産業は、市内全産業の総生産額の1%未満に留まる。

産業大分類別総生産額の推移



資料：滋賀県市町民経済計算

産業大分類別総生産額割合 (2017年度)



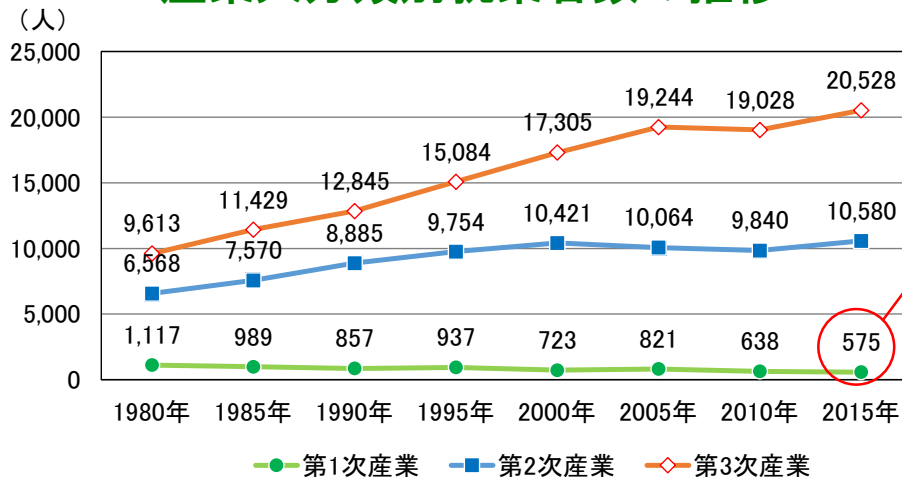
資料：滋賀県市町民経済計算

(6) 産業

1. 栗東市の概要

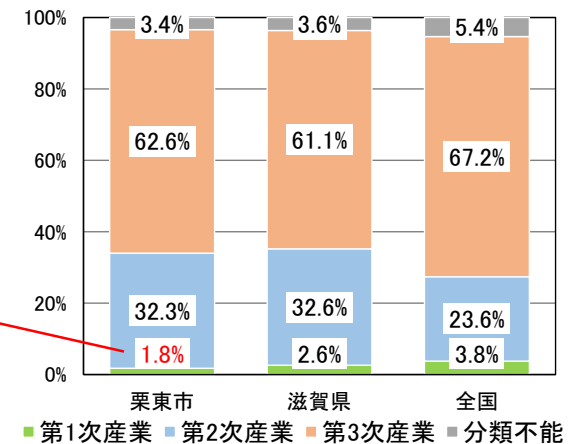
- 本市の就業者数は、人口増加に伴い増加を続け、2015年時点で32,798人となる。
- 第3次産業の就業者が大きく増加する一方、第2次産業の就業者は近年横ばいが続く。
- 第1次産業の就業者数は、長期的に減少傾向が続いており、1980年から2015年にかけて、就業者は約半減している。
- 産業別就業者の割合をみると、本市の第1次産業の就業者数は、滋賀県や全国と比較しても低い割合となっている。

産業大分類別就業者数の推移



※産業分類不能を除く 資料: 国勢調査

産業大分類別就業者数割合(2015年)



資料: 国勢調査

1980年から
約半減

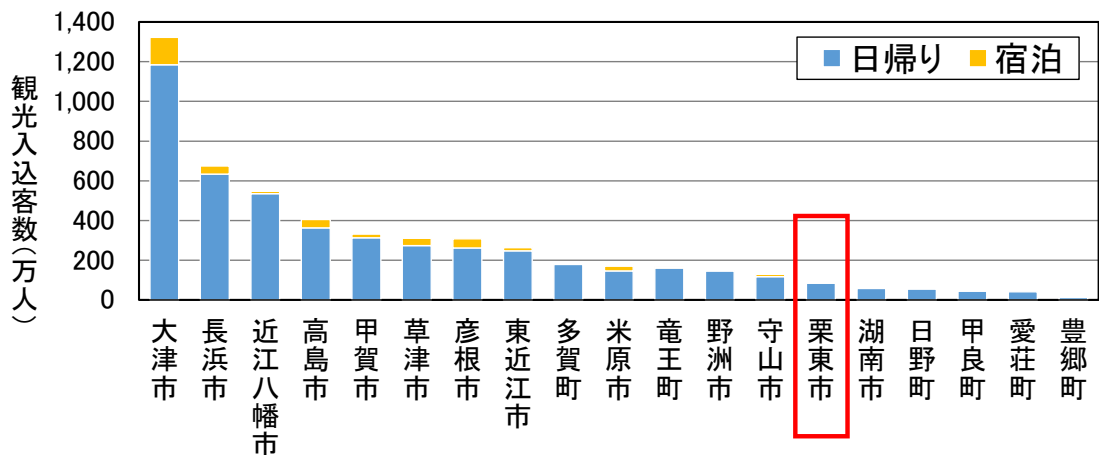
滋賀県、全国
と比べて低い
割合

(7) 観光

1. 栗東市の概要

- 本市は、金勝連峰をはじめとする豊かな自然環境、歴史街道（旧東海道及び旧中山道）や寺社仏閣、旧家（旧和中散本舗）など歴史文化にあふれ、またＪＲＡ栗東トレーニング・センターの誘致(昭和44年)により全国的な知名度を有するなど、多様な観光資源を満喫できる地域である。
- 市内には「アグリの郷栗東」及び「こんぜの里りっとう」の2つの道の駅、ＪＡ栗東市の「田舎の元気や」など、地元農産物を購入できる施設が立地している。
- 市内の観光入込客数は、県内市町と比較して低調であるものの、2018(平成30)年には過去最高（85.6万人）を更新しており、継続的な観光需要の掘り起こしが期待される。

市町別観光入込客数(2018年)



資料：滋賀県観光入込客
統計調査

2. 統計データから見る栗東市の農業

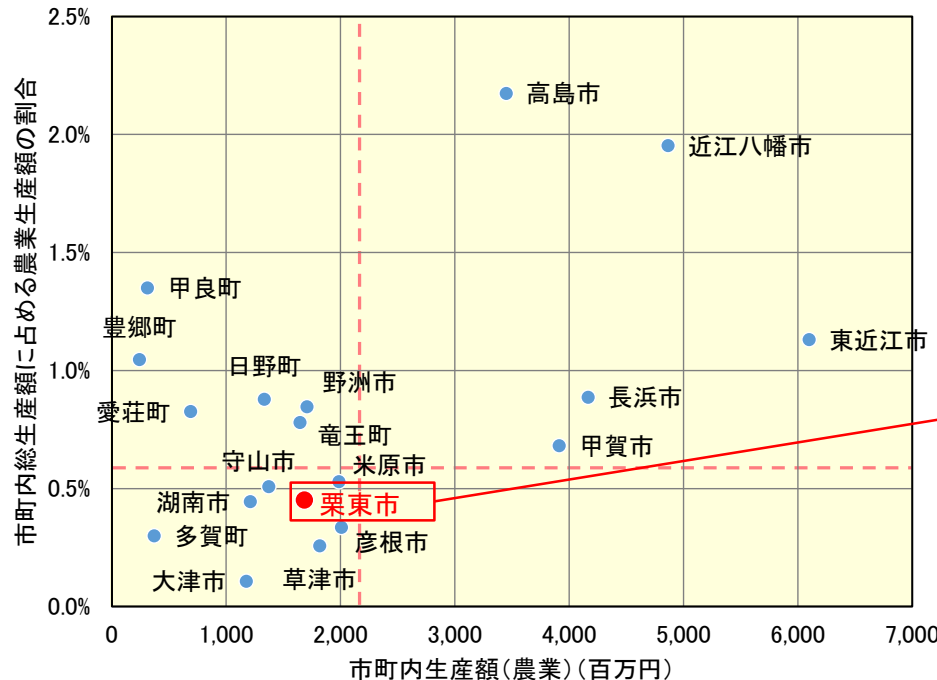
(1) 農業の構造

2. 統計データから見る栗東市の農業

農業産出額

- 滋賀県市町民経済計算より、農業の生産額と市内総生産額の占める割合との相関をみると、生産額(農業)及び総生産額に占める割合ともに市町平均並みとなる。
- 県内市町との比較において、産業としての農業の市内での立ち位置は、概ね平均的な状況といえる。

市町別 農業生産額と総生産額に占める割合の相関(2017年度)



生産額(農業)、
総生産額に占める
割合ともに市町平
均並みとなる

※破線は市町の平均値
資料: 滋賀県市町民経済計算

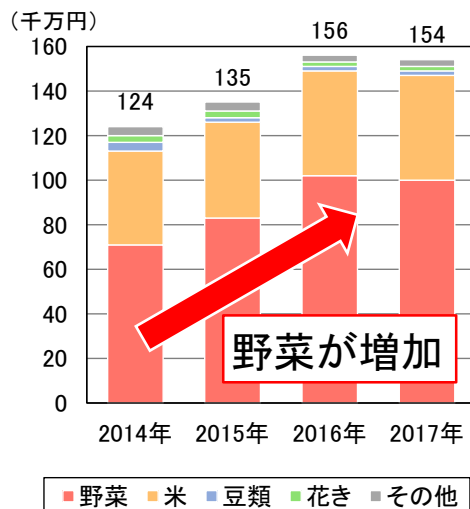
(1) 農業の構造

2. 統計データから見る栗東市の農業

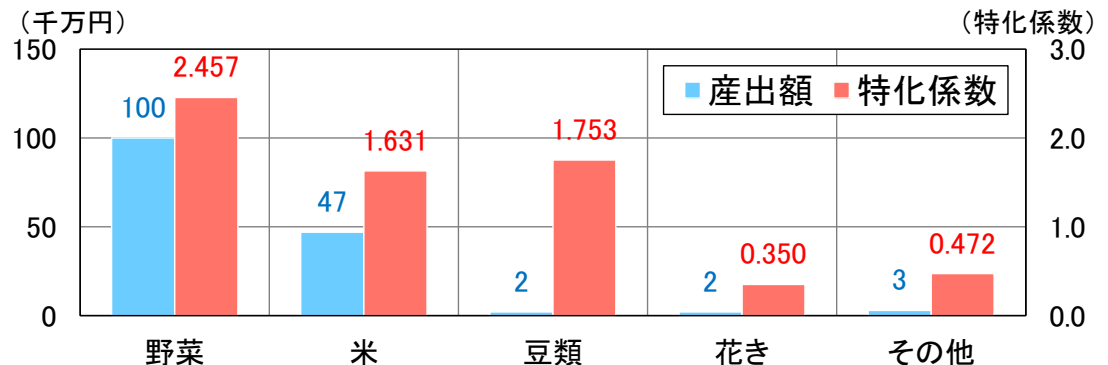
農業産出額

- 本市の農業産出額は、近年15億円前後で推移している。
- 品目別農業産出額にみると、野菜及び米（水稻）が大多数を占めており、特に野菜は2014年から2016年にかけて大きく産出額が増加している。
- 品目別の産出額と構成比（特化係数※）との相関をみると、野菜及び米は産出額・構成比の両面で本市を代表する作物となっている。また、豆類は産出額は少ないものの高い特化係数を示しており、特徴的な作物といえる。

農業産出額の推移



品目別農業産出額と構成比の相関



※特化係数…自地域における品目Aの農業産出額構成比
／全国における品目Aの農業生産額構成比

特化係数が1を超えるものは、全国と比して相対的に産出額が大きい(＝特徴的)ことを示す。

資料：RESAS、農林水産省「市町村別農業産出額(推計)」

※その他…いも類、果実、鶏卵、麦類

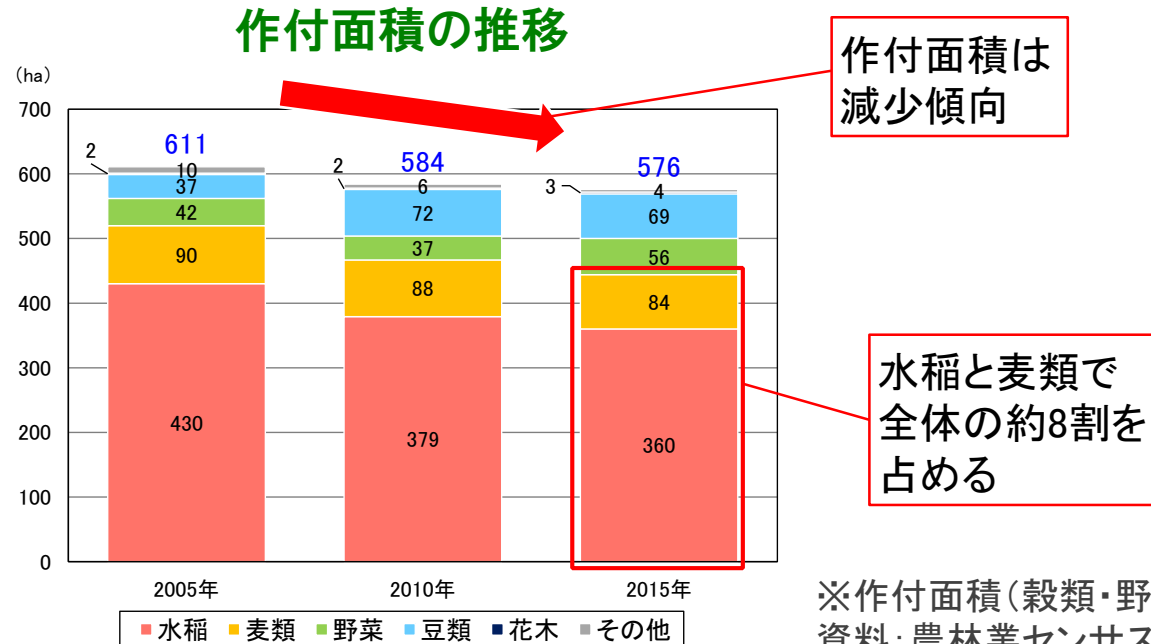
資料：RESAS、農林水産省「市町村別農業産出額(推計)」

(1) 農業の構造

2. 統計データから見る栗東市の農業

作付面積

- 農産物の作付面積は、2005年約611haに対して、2010年約584ha、2015年約576haと減少傾向が続いている。
- 品目別の作付面積は、水稻が全体の6割強を占め、次いで麦類（15%前後）となり、これら品目で約8割を占める。
- 野菜の作付面積は、2010年約37haから2015年には56ha（約1.5倍）と増加している。



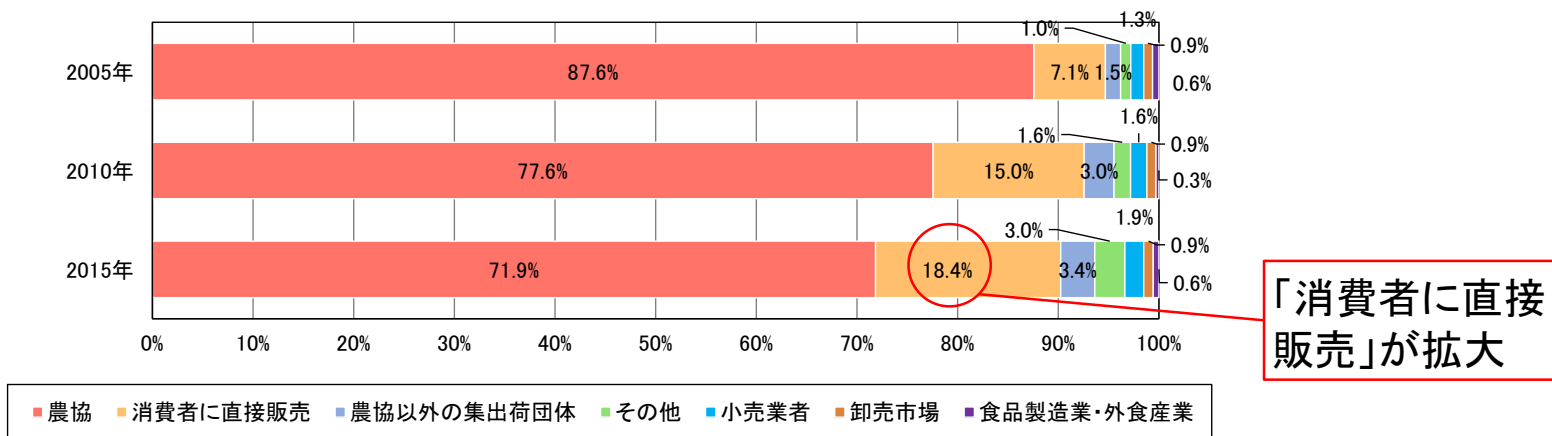
(1) 農業の構造

2. 統計データから見る栗東市の農業

農産物の出荷先

- 農産物の出荷先は、農協が大多数を占め、次いで消費者に直接販売となる。
- 2005年時点では、農協への出荷が約9割を占めていたが、2015年にはその割合は約7割にまで縮小している。
- 一方で、消費者に直接販売が2005年時点で1割未満であったものが、2015年には約2割と大きく拡大している。
- その他の出荷先については、概ね横ばいで推移している。

農産物の出荷先別経営体数割合の推移



資料: RESAS、農林業センサス

(2) 農業の担い手

2. 統計データから見る栗東市の農業

農家数

- 本市の総農家数は2015年時点で948戸となる。販売農家数は、その約6割（585戸）を占める。
- 総農家数は、この10年間で減少傾向であるのに対して、専業農家は直近で増加傾向にある。一方で、第二種兼業農家の減少が顕著となっている。
- 地域（旧村）別の農家数は、葉山地域が最も多い。
- 金勝・葉山地域は、販売農家の占める割合が比較的高い。一方、治田・大宝地域は、自給的農家の占める割合が比較的高い。

農家数の推移

区分	単位	2005年	2010年	2015年				
		市全域	市全域	市全域	金勝	葉山	治田	大宝
総農家数	戸	1,260	1,111	948	230	317	236	165
	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
販売農家	戸	829	715	585	180	200	108	97
	%	65.8	64.4	61.7	78.3	63.1	45.8	58.8
	専業農家	戸	96	77	115	34	38	24
		%	7.6	6.9	12.1	14.8	12.0	10.2
	第一種兼業農家	戸	34	24	28	11	10	2
		%	2.7	2.2	3.0	4.8	3.2	0.8
	第二種兼業農家	戸	699	614	442	135	152	82
		%	55.5	55.3	46.6	58.7	47.9	34.7
	自給的農家	戸	431	396	363	50	117	128
		%	34.2	35.6	38.3	21.7	36.9	54.2

資料：市統計書、農林業センサス

■用語の説明

農家：経営耕地面積が10a以上の農業を営む又は、農産物販売金額が年間15万円以上の世帯

販売農家：経営耕地面積30a以上の農家又は、農産物販売金額が年間50万円以上の農家

専業農家：世帯員の中に兼業従事者が一人もいない農家

兼業農家：世帯員の中に専業従事者が一人もいない農家

第一種兼業農家：農業所得＞農外所得である兼業農家

第二種兼業農家：農業所得＜農外所得である兼業農家

自給的農家：経営耕地面積が30a未満の農家かつ農産物販売額が年間50万円未満の農家

(2) 農業の担い手

2. 統計データから見る栗東市の農業

農業就業者

- 本市の農業就業者数は、2015年時点で759人となり、2005年と比較して約4割近く減少している。
- 一方で、基幹的農業従事者数は、2005年（184人）から2015年（205人）にかけて増加傾向にある。
- 地域別では、農業就業者、基幹的農業従事者ともに金勝地域及び葉山地域に比較的多くみられる。

農業就業者数の推移

区分	単位	2005年	2010年	2015年				
		市全域	市全域	市全域	金勝	葉山	治田	大宝
農業就業人口	人	1,235	792	759	231	268	130	130
	%	—	—	100.0	30.4	35.3	17.1	17.1
基幹的農業従事者	人	184	324	205	73	71	34	27
	%	—	—	100.0	35.6	34.6	16.6	13.2

資料：市統計書、農林業センサス

■用語の説明

農業就業者：主に自営農業に従事した世帯員数（家事や育児が主体の主婦や学生等も含む）

基幹的農業従事者：仕事として農業に従事した世帯員数（家事や育児が主体の主婦や学生等は含まない）

(2) 農業の担い手

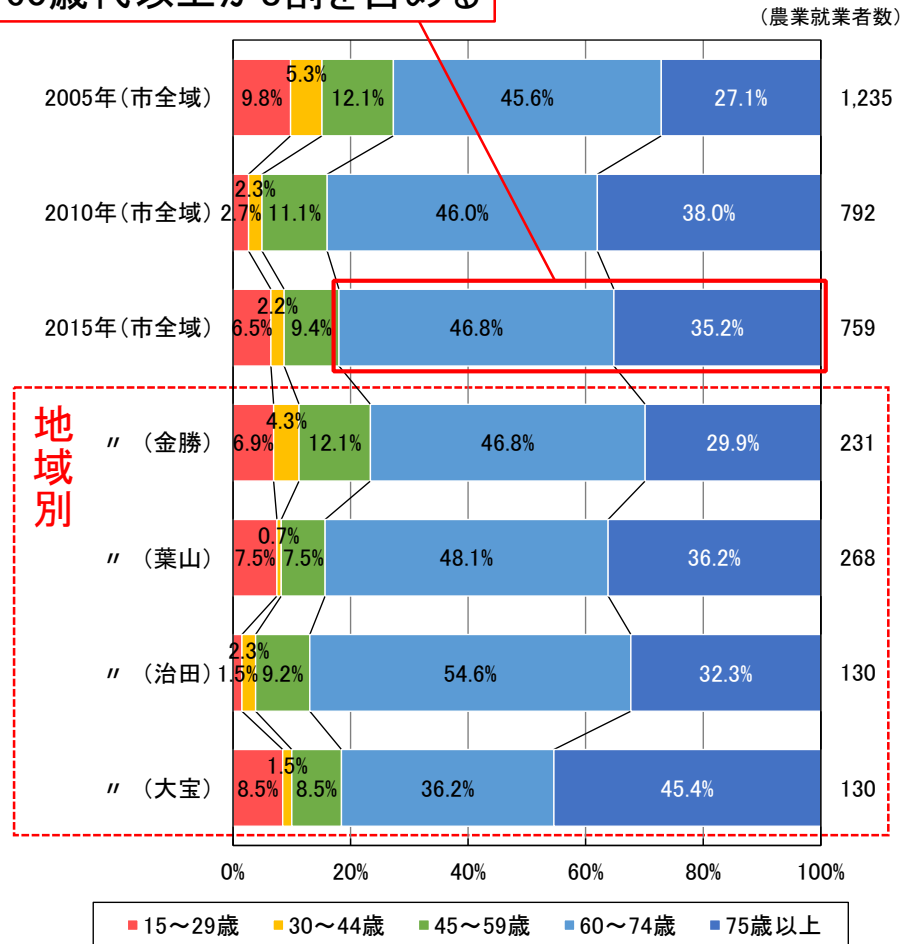
2. 統計データから見る栗東市の農業

農業就業者

- 年齢階級別の農業就業者数の推移をみると、10年間で50歳代以下の就業者数の減少が顕著である。
- 2015年時点の農業就業者のうち、60歳以上が8割、75歳以上が3割強を占めており、今後さらに担い手の高齢化が進行することが懸念される。
- 地域別では、どの地域においても60歳以上が8割前後を占めており、特に治田地域及び葉山地域の高齢化が目立つ。
- 金勝地域では、50歳代以下が2割強を占め、他地域と比べて比較的若い世代の占める割合が高い。

年齢階級別農業就業者数割合

60歳代以上が8割を占める



資料:市統計書、農林業センサス

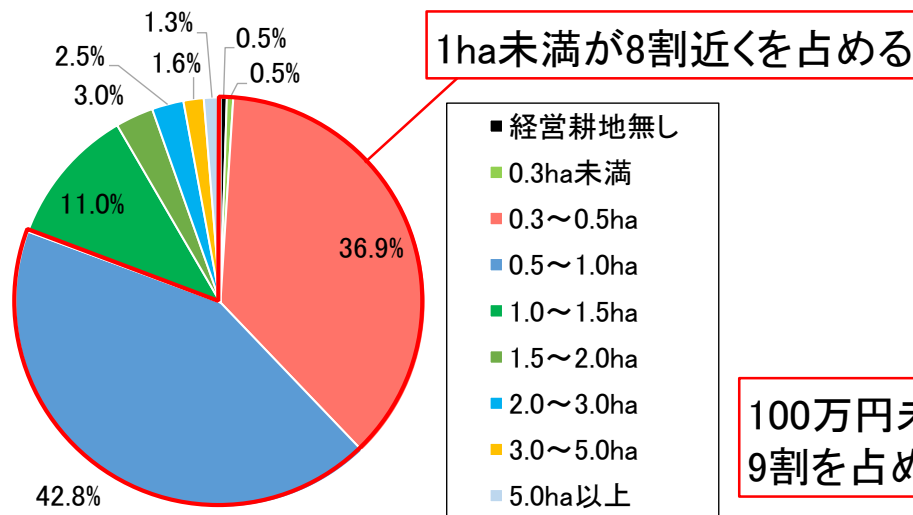
(2) 農業の担い手

2. 統計データから見る栗東市の農業

農業の規模

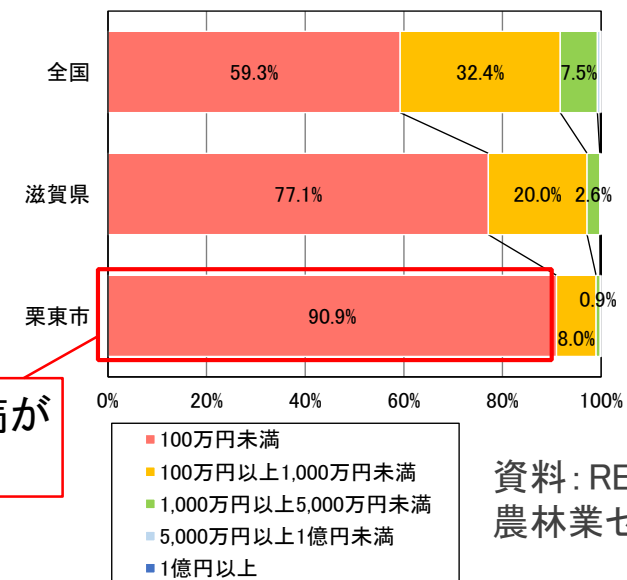
- 経営耕地の規模について、1.0ha未満を所有する農家が全体の8割近くを占めている。
- 農産物販売金額が100万円未満の農家が約9割を占めており、滋賀県（約8割）及び全国（約6割）を大きく上回るなど、比較的規模の小さい農家が多いことが栗東市の特徴となっている。

経営耕地規模別農家数割合
(2015年)



資料：農林業センサス

農産物販売金額帯別農家数割合
(2015年)



資料：RESAS、
農林業センサス

(2) 農業の担い手

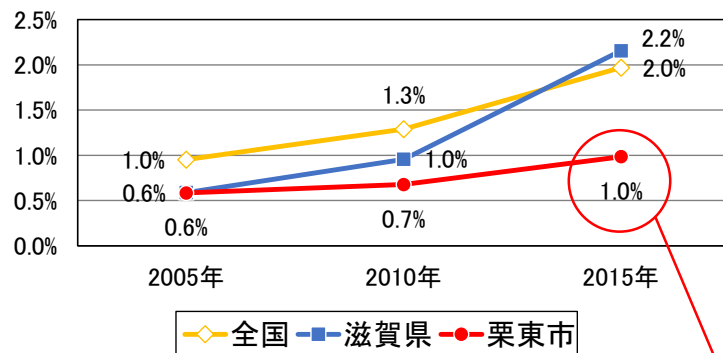
2. 統計データから見る栗東市の農業

法人化の状況

- 栗東市内の農業経営体の内、法人化している経営体は2015年時点で6経営体（法人化率1.0%）となっている。
- 全国的に農業経営体の法人化が進む中で、全国（2.0%）及び滋賀県（2.2%）と比較しても栗東市の法人化率は低い水準であり、法人化が進んでいない状況が伺える。

法人化農業経営体数及び法人化率の推移

		(経営対数)		
全国	農業経営体	2005年	2010年	2015年
	うち法人	2,009,380	1,679,084	1,377,266
	法人化率	19,136	21,627	27,101
滋賀県	農業経営体	1.0%	1.3%	2.0%
	うち法人	32,477	25,732	20,188
	法人化率	191	246	435
栗東市	農業経営体	0.6%	1.0%	2.2%
	うち法人	856	739	610
	法人化率	5	5	6
	農業経営体	0.6%	0.7%	1.0%
	うち法人			
	法人化率			



法人化の割合が低い

資料: RESAS、農林業センサス

■用語の説明

農業経営体: 以下の①～③のいずれかに該当する事業を行っている経営体。

①経営耕地面積30a以上

②以下の外形基準以上

・露地野菜作付面積15a・施設野菜栽培面積350㎡・果樹栽培面積10a・露地花き栽培面積10a・施設花き栽培面積250㎡・搾乳牛飼養頭数1頭

・肥育牛飼養頭数1頭・豚飼養頭数15頭・採卵鶏飼養羽数150羽・ブロイラー年間出荷羽数1,000羽・農業生産物の総販売額50万円に相当する事業規模

③農作業の受託事業

(3) 農地の状況

2. 統計データから見る栗東市の農業

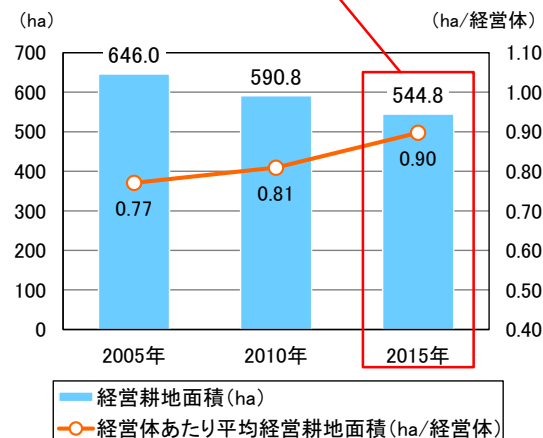
経営耕地面積

- 経営耕地面積は、2015年時点で554.8haとなり、田が9割以上を占める。
- 2005年と比べて、経営耕地面積は約101ha（約16%）減少している。
- 経営体あたりの平均経営耕地面積をみると、2005年0.77ha/経営体に対して、2015年0.90ha/経営体と増加している。
- 地域別では、金勝地域及び葉山地域に経営耕地が多く、また経営体あたりの平均面積も比較的大きい。

経営耕地面積の推移

経営耕地の総面積は減少するが、経営体あたりの平均面積は増加傾向

	経営耕地のある経営体数(経営体)	経営耕地面積(ha)				経営体あたり平均経営耕地面積(ha/経営体)
		総面積	田	畑	樹園地	
	A	B	-	-	-	B/A
栗東市(2005年)	838	646.0	624.6	17.3	4.1	0.77
栗東市(2010年)	730	590.8	563.5	23.1	4.3	0.81
栗東市(2015年)	607	544.8	515.3	24.6	4.9	0.90
金勝	184	186.9	166.3	18.1	2.5	1.02
葉山	211	185.2	180.7	3.9	0.6	0.88
治田	266	85.1	81.7	2.1	1.3	0.32
大宝	281	87.6	86.6	0.6	0.4	0.31



※経営耕地面積＝所有地(田、畑、樹園地)－貸付耕地－耕作放棄地＋借入耕地

資料: 市統計書、農林業センサス

(3) 農地の状況

2. 統計データから見る栗東市の農業

耕作放棄地

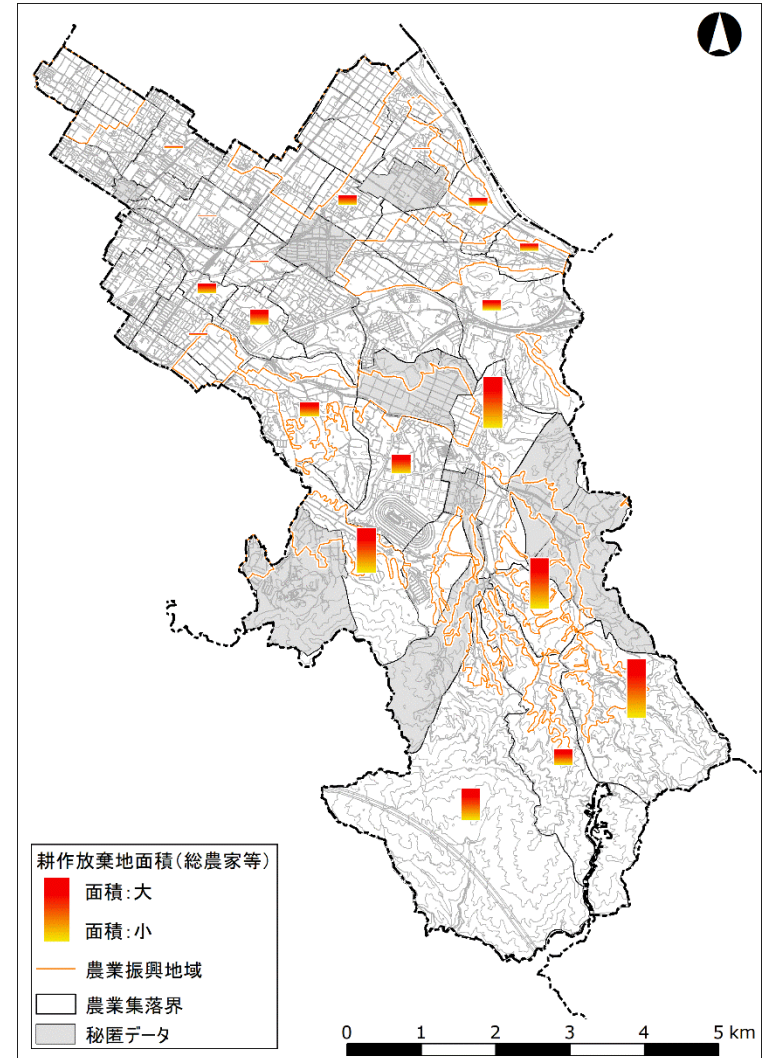
- 耕作放棄地は、市全域で2015年時点で6.9haあり、2005年と比べて約3ha（約80%）増加している。
- うち6.0haが金勝地域に所在している。
- 集落界ごとの分布をみると、市南部の中山間地域に、耕作放棄地が比較的集積している状況がみられる。

耕作放棄地面積の推移

		耕作放棄地 (ha)
栗東市(2005年)		3.7
栗東市(2010年)		6.5
栗東市(2015年)		6.9
	金勝	6.0
	葉山	0.5
	治田	0.4
	大宝	0.1

資料：市統計書、農林業センサス

耕作放棄地の分布状況(2015年)



※農業集落あたり

資料：農林業センサス

(4) まとめ

2. 統計データから見る栗東市の農業

農業の構造

- 市内産業として農業の占める規模等は、県内市町と比較して概ね平均的。
- 本市の主要作物は米及び野菜であり、特に野菜の産出額が近年増加。
- 作付面積は水稻と麦類で全体の約8割を占めるが、近年減少傾向が続く。
- 農産物の出荷先は農協が多数であるが、近年、消費者に直接販売が拡大。

農業の担い手

- 農家数は減少傾向。特に第二種兼業農家の減少が顕著となっている。
- 農業就業者の8割が60歳代以上であり、今後さらに担い手の高齢化が進行することが懸念される。
- 経営耕地1ha未満や農産物販売額100万円未満の農家が多数を占めており、比較的規模の小さい農家が多い。また法人化も全国及び県との比較において低調となっている。

農地の状況

- 経営耕地の総面積は減少するが、経営体あたりの平均面積は増加傾向。
- 耕作放棄地は過去10年間で約1.8倍に増加し、市南部の中山間地域に比較的集積している。

3. 栗東市の主な農業施策・取組

栗東市及び関係団体等の取組

(1) 農地保全の取組

- 栗東農業振興地域整備計画
- 人・農地プラン
- 圃場整備、土地改良等

(2) 農業経営の安定

- 各種補助事業等
(経営所得安定対策推進事業、農業振興推進事業、集落営農促進事業 等)

(3) 担い手確保、育成

- 認定農業者制度
- 新規就農者支援

(4) 農業体験、景観保全

- 農業体験、市民農園
- 棚田保全活動（走井地区）

(5) 地産地消、食育

- 第3次食育推進計画
(学校給食への食材供給 等)
- 道の駅、直売所

(6) 農業の高付加価値化

- 「栗東のこだわり農産物・農産加工品」の開発
- 6次産業化等の取組

(1) 農地保全の取組

3. 栗東市の主な農業施策・取組

栗東農業振興地域整備計画（H24. 4）

「農業振興地域の整備に関する法律（農振法）」に基づき、安全で安心な食料の安定的な供給に向けて、将来にわたり優良な農地を確保、維持・保全と有効利用を図ることを目的に、地域の概況等に即して総合的に農業の振興を図るために策定する計画。

10ヘクタール以上の集団的農用地や基盤整備実施農地、農業用生産施設等を、農業上の利用を図るべき区域（農用地区域）として設定。

● 農用地区域の設定（R元. 12. 31時点）

- ・ 農業振興地域 : 約815. 8ha
- ・ 農用地区域 : 約571. 8ha



農業振興基本計画の策定に合わせて
整備計画の見直しを実施する

人・農地プラン

集落・地域レベルにおける話し合いを通じ、地域の実情に応じて、5年後、10年後までに誰がどのように農地を使って農業を進めていくのかをまとめた計画。

● 策定状況（令和2年9月時点）

策定済：19地域

圃場整備、土地改良等

● 圃場整備推進事業

六地蔵地区基盤整備事業など。

● 土地改良事業

農業用施設の新設や更新（補助）。

● 土地改良事業推進経費

農業用施設補修に要する資材供給、土地改良関連団体の活動支援。

(2) 農業経営の安定

3. 栗東市の主な農業施策・取組

各種補助事業等

日本型直接支払制度

● 中山間地域等直接支払交付金(国・県・市)

「農業の有する多面的機能の発揮の促進に関する法律」に基づき、耕作放棄地の発生を防止し、農地の多面的機能の確保を図る。

● 多面的機能支払交付金(国・県・市)

「農業の有する多面的機能の発揮の促進に関する法律」に基づき、農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るための地域の共同活動に係る支援を行い、地域資源の適切な保全管理を推進。

● 農業振興推進事業(国・県・市)

環境と琵琶湖にやさしい農業の取り組みを推進することにより、付加価値を高めた農業振興を図る。(環境保全型農業直接支払交付金等)

● 経営所得安定対策推進事業(国・県)

地域の発展と将来にわたり持続性の高い農業経営と需要に応じた生産振興を図るため、農業者や関係団体と連携した事業を推進。(直接支払交付金等)

● 集落営農促進事業(国・市)

集落営農組織による集落ぐるみの営農を促進し、良質の米、麦、大豆、野菜の生産に取り組む。

また、人・農地プランの見直しや中間管理機構による農地集積を推進し、農地利用の高度化を進める。

● 農業機械等の導入

- ・ 農林業振興機械整備事業補助(市)
- ・ 担い手確保・経営強化支援事業補助(国)
- ・ 野菜等レンタルハウス事業補助(市)
- ・ 獣害防止事業(電柵等資材助成)(県・市)

ほか

(3) 担い手確保、育成

3. 栗東市の主な農業施策・取組

認定農業者制度

- **認定農業者**

農業経営基盤強化促進法に基づき、『地域農業の将来を担う者』として市町村から認定された農業経営者および農業生産法人。

- **認定農業者制度**

農業経営の安定、地域の農業構造の再編が目的。認定農業者には、税制優遇措置や長期低金利融資の貸付などの支援策が講じられる。

- **栗東市認定農業者**

認定農業者：27経営体
(うち法人：7)

資料：栗東市資料、滋賀県資料ほか

新規就農者支援

- **新規就農者の状況 (H24.9～現在)**

新規就農者：6名

- **農業次世代人材投資事業**

就農意欲の向上と定着を図るため、就農前後の青年就農者の経営支援を推進。

- **栗東市チャレンジ農業塾**

栗東市内で営農を目指す就農者の定着を促進し、また農業で起業を希望する人を足元から支える支援システムとして、市・JAをはじめ関係機関により「栗東市チャレンジ農業塾協議会」を令和2年2月に設立。同年6月より第1期生1名が入塾・



出典：栗東市資料ほか

(4) 農業体験、景観保全

3. 栗東市の主な農業施策・取組

農業体験、市民農園

● J A栗東市「わんぱくスクール」

食と農の教育活動の一環として、次世代を担う子どもたちに、農業体験学習や様々な催しを通じて、いのち・農業・食べ物・健康の大切さや食の安全・安心を子どもたちに伝える。

● たんぼのこ体験事業

小学校において田植え、稲刈り、収穫祭、野菜栽培などの農業体験を学習として行う。



● 市内の主な市民農園

- ・ 大宝西高齢者いきいき農園
- ・ 大宝幼稚園横農園
- ・ 植木跡地農園
- ・ A + 安養寺農園
- ・ 貸農園（安藤）



出典：栗東市資料、J A栗東市資料、
第3次栗東市食育推進計画ほか

棚田保全活動（走井地区）

● 「しが棚田トラスト制度」

棚田地域の住民とボランティアが一体となり棚田保全活動を実施。

● 活動内容

- ・ 川や水路の清掃
- ・ 紫陽花ロードの整備
- ・ 花の植え替え
- ・ 道路わきの除草、清掃
- ・ 農業体験（交流体験農場）
- ・ 農村×都市交流イベント（ハーベストイン走井）
- ・ 企業との協働による耕作放棄地の再生等



資料：栗東市資料、滋賀県資料、
明日の走井を考える会 資料ほか

(5) 地産地消、食育

3. 栗東市の主な農業施策・取組

第3次栗東市食育推進計画（R2.3）

● 基本理念

「おいしくたのしく食べて
心も体も健康に！」

● 基本目標

『つづける』『つながる』『つくる』
上記3つの基本目標を環の形としている。
1つの分野の目標が実践できると他の
分野が実践できるきっかけとなり、そ
れぞれの分野が良い影響をしあって実践
していくことを表す。

● 農と連携した取組

- ・ 学校給食への食材供給推進
- ・ 栗東農業まつり
- ・ たんぼのこ体験事業
- ・ やまのこ事業 等



資料：第3次栗東市食育推進計画

道の駅、直売所

● 道の駅

- ・ 道の駅アグリ郷栗東
(栗東農畜産物処理
加工施設)

管理団体：

アグリ郷栗東株式会社
(栗東市指定管理者)



- ・ 道の駅こんぜの里りっとう

管理団体：

滋賀南部森林組合
(栗東市指定管理者)



● 農産物直売所

- ・ JA栗東市
田舎の元気や



資料：栗東市資料、JA栗東市ほか

(6) 農業の高付加価値化

3. 栗東市の主な農業施策・取組

「栗東のこだわり農産物・農産加工品」の開発

- 栗東米

「栗東市特別栽培米」、「こんぜ清流米」をはじめ食味の優れた付加価値の高い「栗東米」のブランド化を図る。

- 栗東いちじく

県下でも有数のいちじくの産地。加工品の生産も盛んに行われている。

- その他

大都市近郊の有利性を生かした軟弱野菜(小松菜、ねぎ、ほうれん草)の栽培など。

※特別栽培米、いちじく、軟弱野菜ともに
滋賀県『環境こだわり農産物』認証。

資料：栗東市資料、滋賀県資料、JA栗東市資料ほか



資料：JA栗東市



資料：栗東いちじく生産組合

6次産業化等の取組

- いちじくジャム

栗東いちじくの中で、形が悪い、少し小さいなどして市場に出ない物を加工用として生産組合で冷凍保存をして、生産者自らジャムなどに加工。

- りっとう無花果コンサート

2016年より毎年開催。コンサートを通して、品質が高く、美味しく、身体に良い「栗東いちじく」をPRするとともに、新規就農のための関連イベントなども開催。

資料：栗東市資料、JA栗東市資料、
栗東いちじく生産組合資料ほか

